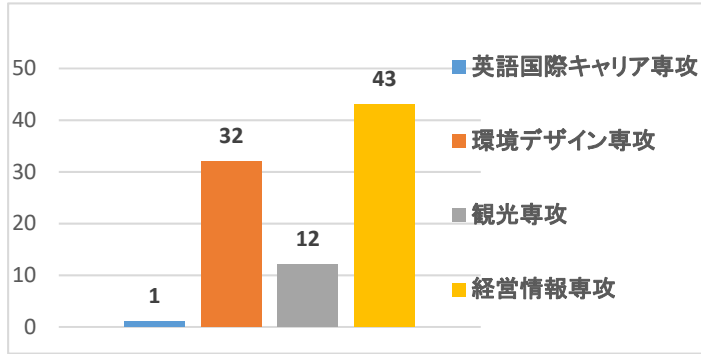
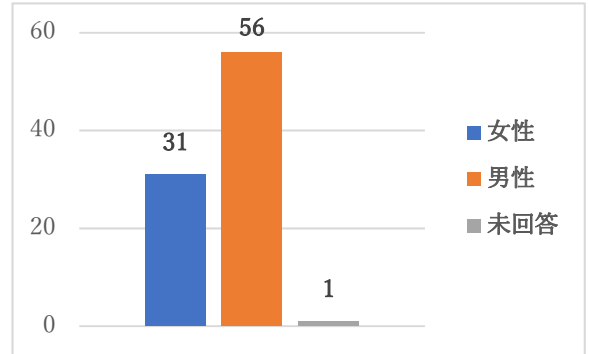


アンケート回答：卒業生 112 名中 88 人（回答率 78.6%）

専攻別回答人数

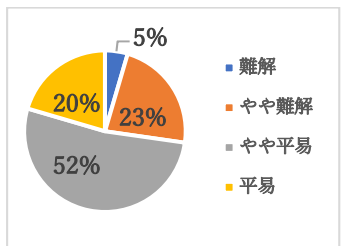


男女別回答人数

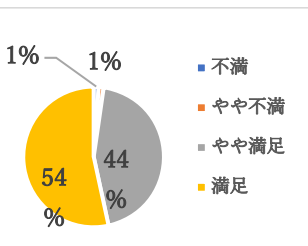


1 授業科目全般に関する平均的評価

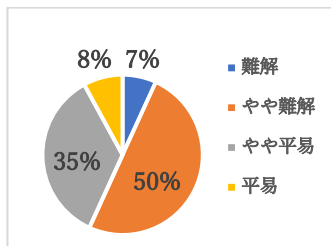
a 教養科目の難易度



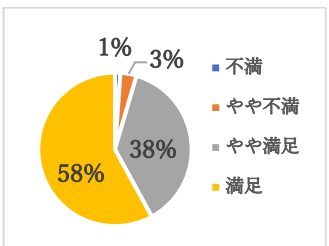
b 教養科目に対する満足度



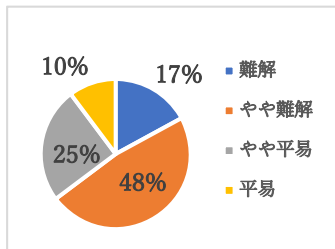
c 専門科目の難易度



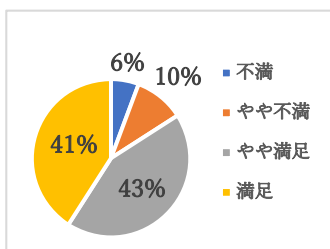
d 専門科目に対する満足度



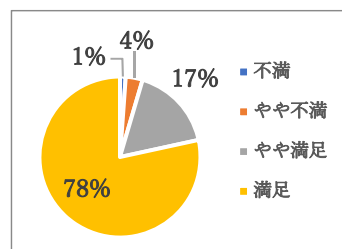
e 外国語科目の難易度



f 外国語科目に対する満足度



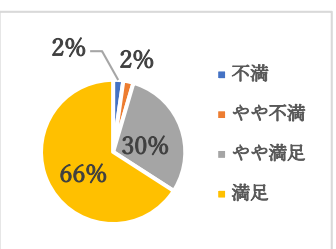
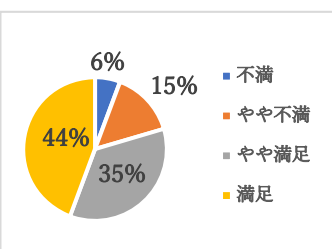
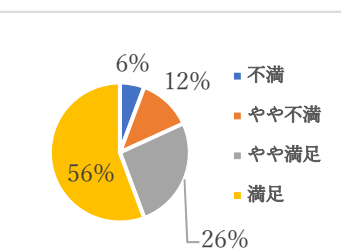
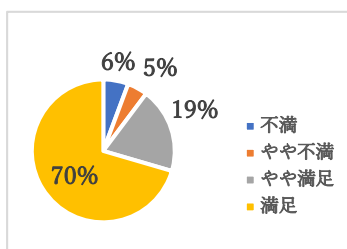
g 卒業論文指導の満足度



・教養科目、専門科目、外国語の満足度にて“満足”の回答が2020年度から4年連続で伸びている。卒論指導の満足度が過去5年で最も高かった。

2 学習環境・就職支援について

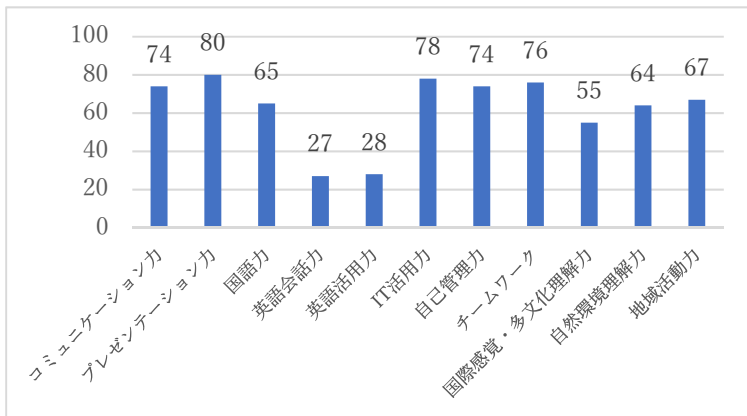
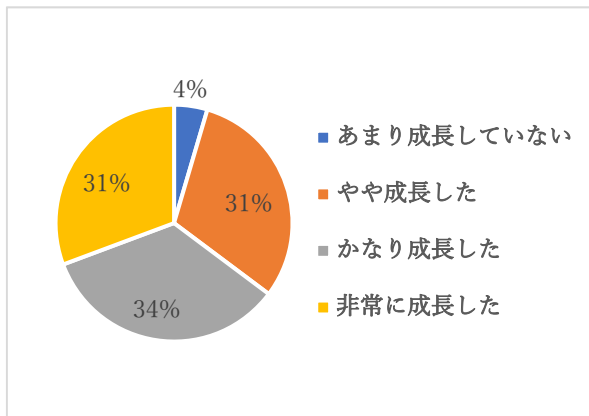
a 教室などの学習環境の満足度 b PC・ネットワーク環境の満足度 c 資格取得に対する満足度 d 就職指導に対する満足度



※学習環境の“満足”の回答が5年間伸び続けている。また、PC/ネットワーク環境の満足度は“満足”の回答が大幅に伸びた。

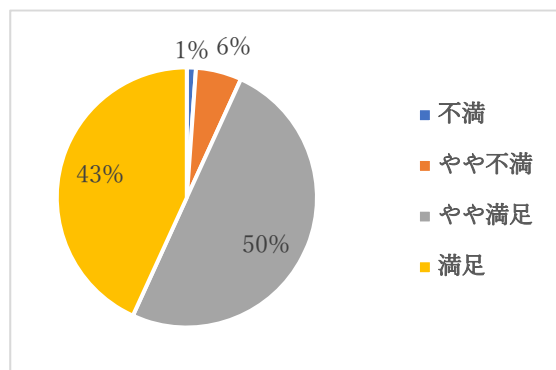
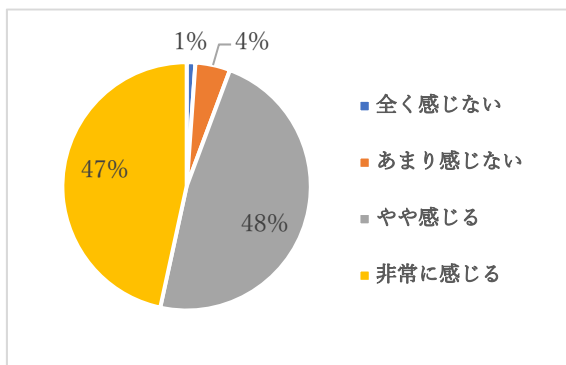
3 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って

a 入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか b どのような力が伸びたと感じていますか？（人数、複数回答）



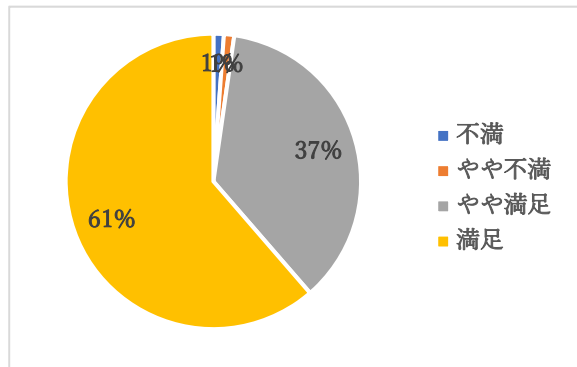
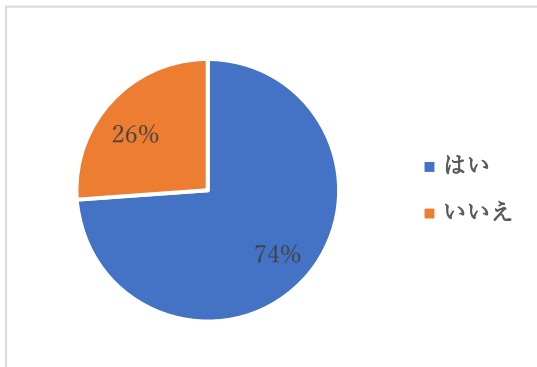
※"チームワーク"が3年連続で伸びた以外に例年との大きな違いは無かった。(コロナ禍の影響からの回復か)

c 大学で学んだことが社会へ出て役に立つと感じていますか d 大学での生活全体を振り返って、満足していますか



4 その他

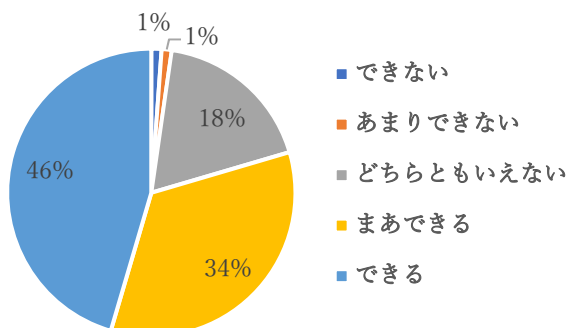
a あなたはこの大学で学ぶことを薦めたいですか b ICカード付き学生証を使用してどうでしたか



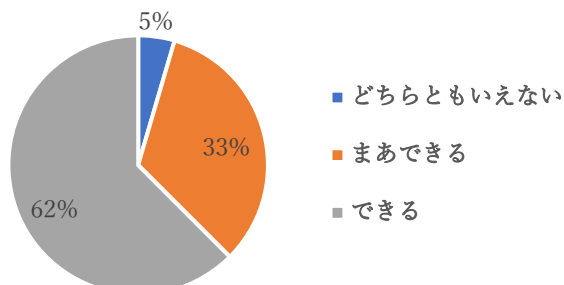
5 ディプロマポリシー達成度

A 人間性の向上

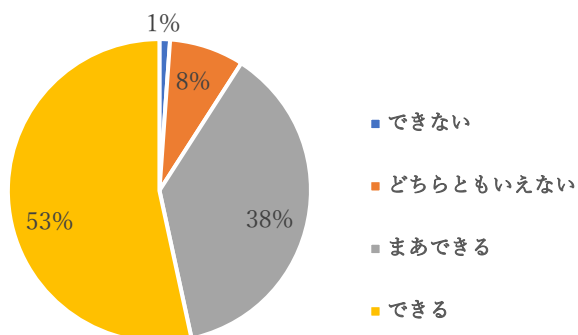
国際化の進む現代社会に必要な外国の文化についての知識を身につけ、他国の人と共存することができる



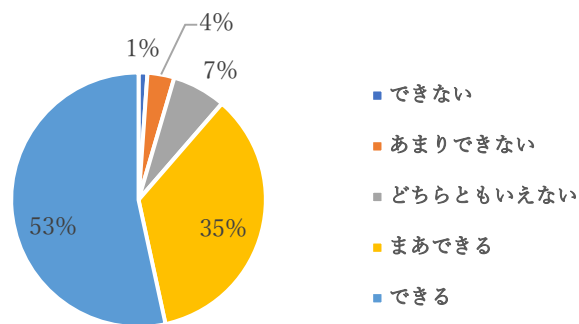
性別や年齢の固定的な役割に縛られず、他者と共存することができる



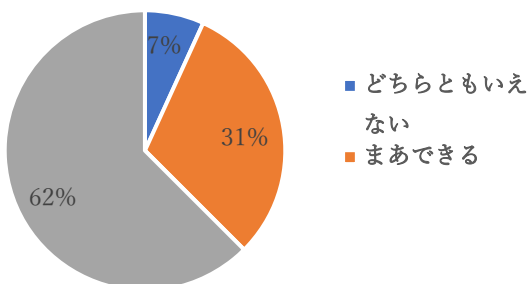
自然環境との共生を意識しながら、環境にできるだけ負担をかけない行動をとることができる



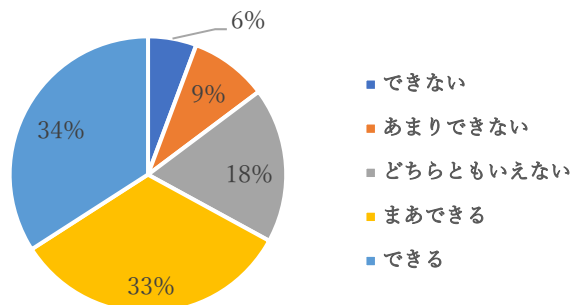
現代の社会情勢や時事的な問題についての知識を身につけ、それに関する自分の考えを述べるることができる



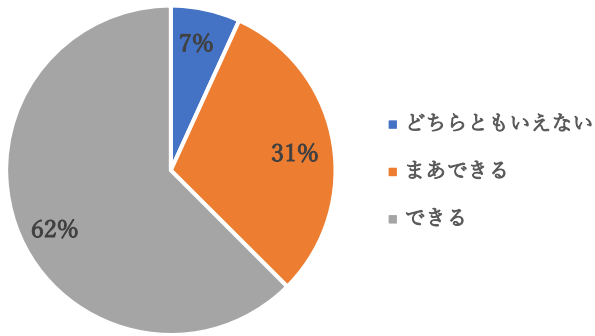
インターネットなどの多様な情報を適切に使い活用できる



特定の外国語を使って、読み、書き、話し、聞くことができる

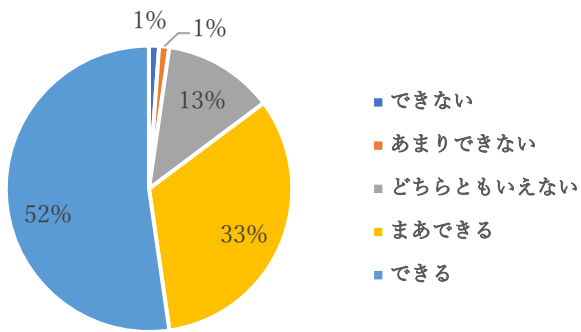


自分の良心や社会の規範に従って自分の発言や行動を適切に律することができる

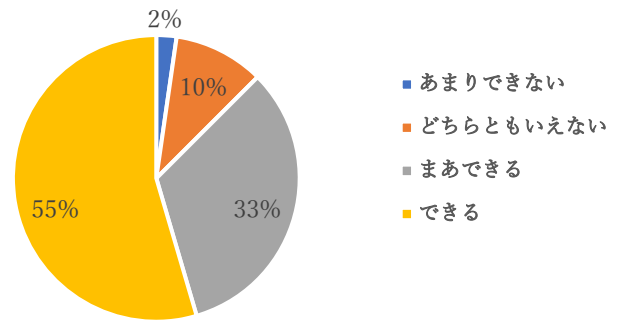


B 専門性の向上

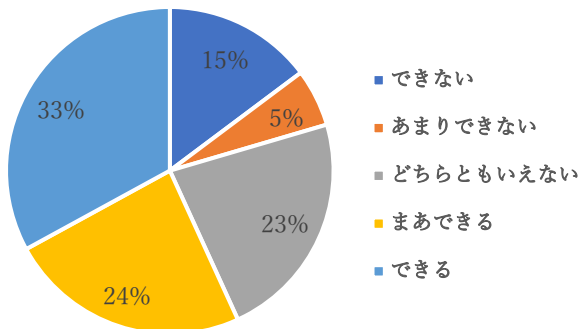
現代社会で生起する事象を、観光、環境、経営、情報、国際キャリアの分野から幅広く考察することができる



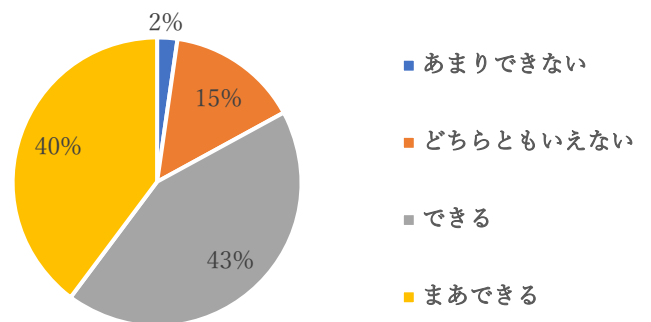
地域社会の課題を発見し、課題解決のための方策を考えることができる



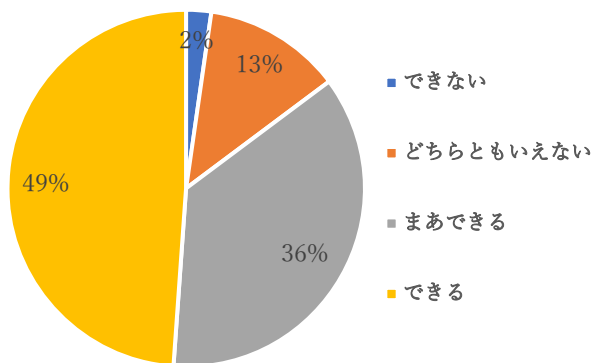
専門分野において外国語を活用することができる



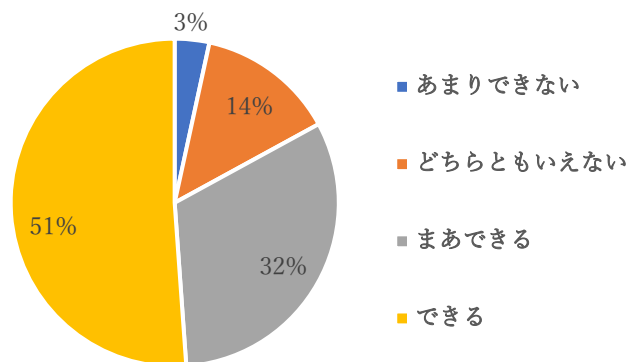
専攻で修得した専門知識や技能・資格を活用して、社会で生起する事象を深く理解することができる



レポートや論文を作成する際に、信頼性のあるデータを正確に解釈することができる

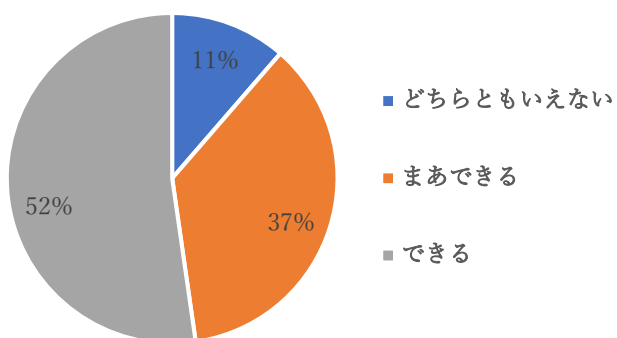


レポートや論文を作成する際に、問題の設定から結論に至る過程を論理的に表現することができる

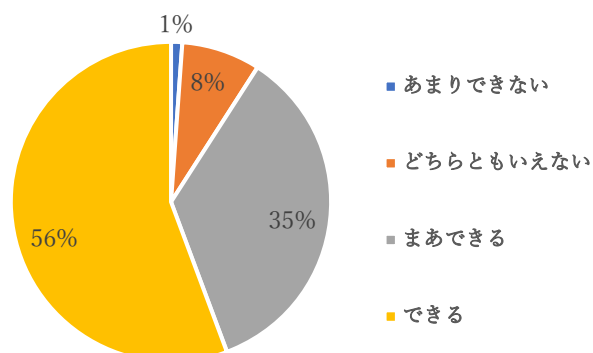


C 社会性の向上

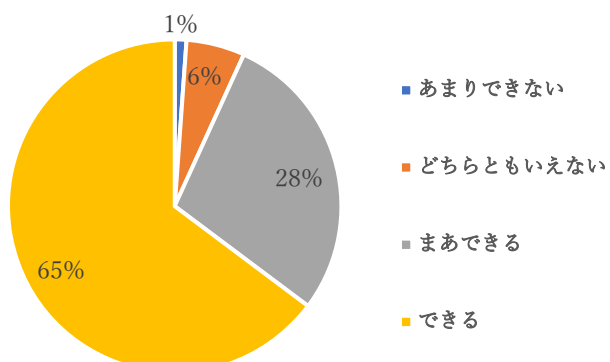
自分の意見を、相手に分かりやすいように的確に伝えることができる



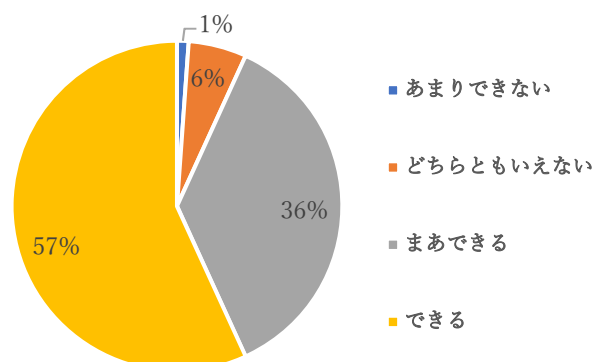
相手の意見をしっかりと聞き、適切な質問によって相手の意見を引き出すことができる



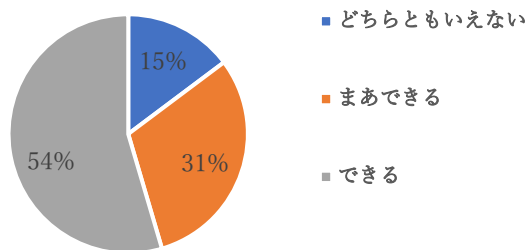
自分の意見ややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重することができる



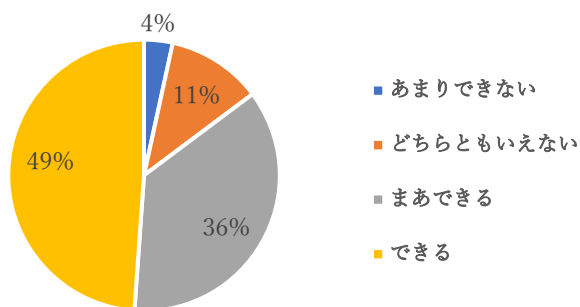
人々と共同で仕事をするときに、チームにおける自分の役割を理解し行動することができる



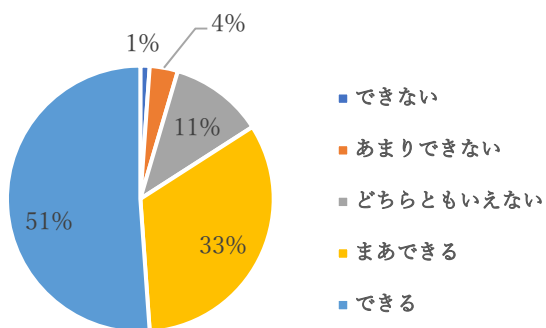
ストレスを感じるがあっても、それを軽減する
考え方や行動によって、ストレスを適切に処理する
ことができる



指示を待つばかりでなく、自ら進んでやるべきことを見
つけ取り組むことができる



目的達成のために、他者に働きかけ他者を動かすこと
ができる



※「5.ディプロマポリシー達成度」については、ほぼすべての質問項目で“できる”および“まあできる”を合わせた割合が例年よりも向上していた。(例外は、「特定の外国語を使って、読み、書き、話し、聞くことができる」の質問に対して“できる”および“まあできる”とした割合が落ちていた。しかし、同様の質問である「専門分野において外国語を活用することができる」に対して“できる”および“まあできる”とした割合が伸びており、回答の一貫性に疑問がある。)

令和5(2023)年度 卒業時アンケート (現代社会学部)

目的：卒業時に本学での学生生活を振り返ってもらい、本学の教育活動に対する満足度や在学中の学びを通じた知識・能力の修得状況、また本学に期待・要望することなど幅広い意見を徴収し、その結果を教育の改善や質向上に向けた学内での議論に活用していくための基礎資料とする。

回答方法：Microsoft にログインし、各設問に対して該当する番号を選択、記述式に関しては記入欄に回答。

実施期間：卒業論文発表会終了後（2月上旬頃）に実施

1. 性別： 男性 女性 未回答

2. 専攻： 観光専攻 環境デザイン専攻 経営情報専攻 英語国際キャリア専攻

3. 授業科目全般に関する平均的評価(1) (科目の難易度)

①教養科目の難易度	難解	やや難解	やや平易	平易
②専門科目の難易度	難解	やや難解	やや平易	平易
③外国語科目の難易度	難解	やや難解	やや平易	平易

4. 授業科目全般に関する平均的評価(2) (科目に対する満足度)

①教養科目に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易
②専門科目に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易
③外国語科目に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易
④卒業論文指導に対する満足度	難解	やや難解	やや平易	平易

5. 学習環境・就職支援について

①教室などの学習環境の満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
②PC・ネットワーク環境の満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
③資格取得に対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
④就職指導に対する満足度	満足	やや満足	やや不満	不満

6. 学習環境・就職支援について (記述式①)

環境・設備面で気に入っているところを記入してください。

7. 学習環境・就職支援について (記述式②)

環境・設備面で気に入らないところを記入してください。

8. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って①

入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか

非常に成長した かなり成長した やや成長した あまり成長していない

9. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って②

下記のどのような力が伸びたと感じていいですか。伸びたと感じたもの、伸びたと感じなかったものにチェックしてください。

・コミュニケーション力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・プレゼンテーション力 (発表力)	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・国語力 (日本語の読み、書き)	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語会話力 (聞く、話す)	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語活用力 (読み、書く)	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった

・ IT 活用力（パソコン等の活用）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・ 自己管理能力（自ら律して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・ チームワーク（他者と協調して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・ 国際感覚・多文化理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・ 自然環境理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・ 地域活動力（地域で様々な活動する）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった

10. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って③

その他、自分が伸びたと感じていい点を書いてください。

11. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って④

大学で学んだことが社会に出て役立つと考えていますか。

非常に感じる やや感じる あまり感じない 全く感じない

12. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って⑤

大学での生活全体を振り返って、満足していますか

満足 やや満足 やや不満 不満

13. その他①

あなたは後輩や親戚にこの大学で学ぶことを薦めたいですか はい いいえ

14. その他②

ICカード付学生証を使用してどうでしたか 満足 やや満足 やや不満 不満

15. その他③

この大学に今後期待すること

16. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします①

A 人間性の向上 （回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない）

- ・ 国際化の進む現代社会に必要な外国の文化についての知識を身に着け、他国の人と共存することができる
- ・ 性別や年齢の固定的な役割に縛られず、他者と共存することができる
- ・ 自然環境との共生を意識しながら、環境にできるだけ負荷をかけない行動をとることができる
- ・ 現代の社会情勢や時事的な問題についての知識を身につけ、それに関する自分の考えを述べるすることができる
- ・ インターネットなどの多様な情報を適切に使い活用できる
- ・ 特定の外国語を使って、読み、書き、話し、聞くことができる
- ・ 自分の良心や社会の規範に従って自分の発言や行動を適切に律することができる

17. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします②

B 専門性の向上 （回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない）

- ・ 現代社会で生起する事象を、観光、環境、経営、情報、国際キャリアの分野から幅広く考察することができる
- ・ 地域社会の課題を発見し、課題解決のための方策を考えることができる
- ・ 専門分野において外国語を活用することができる
- ・ 専攻で修得した専門知識や技能・資格を活用して、社会で生起する事象を深く理解することができる
- ・ レポートや論文を作成する際に、信頼性のあるデータを正確に解釈することができる
- ・ レポートや論文を作成する際に、問題の設定から結論に至る過程ををン利敵に表現することができる

18. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きします③

C 社会性の向上 (回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない)

- ・自分の意見を、相手にわかりやすいように的確に伝えることができる
- ・相手の意見をしっかりと聞き、適切な質問によって相手の意見を引き出すことができる
- ・自分の意見ややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重することができる
- ・人々と共同で仕事をするとき、チームにおける自分の役割を理解し行動することができる
- ・ストレスを感じるがあっても、それを軽減する考えや行動によって、ストレスを適切に処理することができる
- ・指示を待つばかりでなく、自ら進んでやるべきことを見つけ取り組むことができる
- ・目的達成のために、他者に働きかけ他者を動かすことができる

ご協力ありがとうございました。